

2025年度 救護員としての赤十字看護師研修/亜急性期病院支援演習 計画

看護部

分野	研修名/対象者	研修目標	講師	日時
救護員としての赤十字看護師研修	<p>救護員としての赤十字看護師研修（講義）</p> <p>対象： ①赤十字施設キャリア開発ラダーレベルⅠ取得のもので今年度中にレベルⅡを目指すもの ②日看協ラダーレベルⅡ以上取得し、レベル別プログラム「赤十字」「グローバルヘルス」を受講済みのもの</p>	<p>1.赤十字の看護師養成の歴史が分かる 2. 救護員としての赤十字看護師に求められる役割が分かる 3.災害医療の特徴が分かり、災害サイクルに応じた知識と技術が習得できる 4.救護員としての心構えができる</p>	<p>病院管理者 日赤災害医療コーディネーター、コーディネータスタッフ 支部職員 こころのケア指導者</p>	別紙計画
	<p>演習 対象：上記の講義を全て受講したものの</p>		<p>日赤災害医療CO 日赤災害医療コーディネータスタッフ</p>	
	<p>FUNo.1. 日本赤十字社看護部の救護員としての赤十字看護師育成に関する取り組み</p> <p>対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅠ認定済みで、レベルⅡの申請を今年度計画しており、「救護員としての赤十字看護師研修」受講後1年以上経過したもの ③令和7年度常時救護班登録者</p>	<p>* 赤十字の看護師養成の歴史について理解する * 救護員養成の法的根拠について理解する * 救護員育成体系について理解する * 赤十字施設のキャリア開発ラダーとの関連を確認する</p>	<p>各部署係長 (フォロー：看護部)</p>	7月-8月に部署内で計画的に進める
	<p>FUNo.2 日本における災害対策および日本赤十字社の災害救護活動～協働の時代に向けて～ (90分)</p> <p>対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅠ認定済みで、レベルⅡの申請を今年度計画しており、「救護員としての赤十字看護師研修」受講後1年以上経過したもの ③令和7年度常時救護班登録者</p>	<p>* 災害の定義、分類、近年の災害発生傾向等について理解する * 日本赤十字社が行う災害救護活動の法的根拠、国の防災対策との関連について理解する * 日本赤十字社の災害救護体制とリソースについて理解する * 日本赤十字社を取り巻く災害救護活動の現状、今後の取り組みについて理解する</p>	<p>各部署師長 (フォロー：看護部)</p>	1の研修受講後7月-8月に部署内で計画的に進める（数回に分けて開催するなど工夫可）
	<p>FUNo.3. 災害サイクルに応じた看護活動（講義60分+ディスカッション30分程度）</p> <p>対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの</p>	<p>* 災害サイクルに応じた災害救護活動を理解する ①超急性期の活動でのそれぞれの場所での活動の目的目標を理 ②災害サイクル各期における避難所や仮設住宅での生活支援について理解する</p>	<p>日赤災害コーディネータスタッフ 救護班師長</p>	9月10日（水） 13：30-15：00 多目的ホール1・2.

救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修

<p>②ラダーレベルⅠ認定済みで、レベルⅡの申請を今年度計画しており、「救護員としての赤十字看護師研修」受講後1年以上経過したもの ③令和7年度常時救護班登録者</p>	<p>③静穏期の減災対策（国の減災対策・病院等施設の減災対策）を理解する</p>		
<p>FUNo.4. 災害時における感染制御について（講義70分＋GW20分） 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅠ認定済みで、レベルⅡの申請を今年度計画しており、「救護員としての赤十字看護師研修」受講後1年以上経過したもの ③令和7年度常時救護班登録者</p>	<p>*災害時における感染制御について理解する *救護活動時の感染対策について理解する ※平時の準備として何ができるかグループディスカッションから導き出す</p>	<p>DMAT隊員</p>	<p>9月26日（金） 13：30-15：00 多目的ホール1・2</p>
<p>FUNo.5. 災害の特性に応じた救護活動（90分） 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅡ認定済みで、レベルⅢの申請を今年度計画しているもの ③過去にFU研修を受講済みのものでブラッシュアップしたい ③令和7年度常時救護班登録者</p>	<p>*災害の特性に応じた救護活動を理解する</p>	<p>日赤災害コーディネータースタッフ 救護班師長</p>	<p>10月15日（水） 13：30-15：00 多目的ホール1・2</p>
<p>FUNo.6. 被災者特性に応じた看護活動（講義30分＋GW60分程度） 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの ②ラダーレベルⅡ認定済みで、レベルⅢの申請を今年度計画しているもの ③過去にFU研修を受講済みのものでブラッシュアップしたい ③令和7年度常時救護班登録者</p>	<p>*災害時に配慮が必要な方への看護を理解する 高齢者、妊婦、小児、障がい者、LGBT、精神障がい者 慢性疾患患者、女性</p>	<p>救護班師長 GWファシリテーター： 日赤災害コーディネータースタッフ</p>	<p>10月23日（木） 13：30-15：00 多目的ホール1・2</p>
<p>FUNo.7. 災害時の遺体の対応について（講義60分GW30分程度） 対象：災害看護に関心がある方 ①過去に救護員としての赤十字看護師研修を受講済みのもの</p>	<p>*災害時のご遺体の対応について理解する</p>	<p>公認心理師 こころのケア指導者</p>	<p>10月31日（金） 13：30-15：00 多目的ホール1・2</p>

	②ラダーレベルⅡ認定済みで、 レベルⅢの申請を今年度計画 しているもの ③過去にFU研修を受講済みのものでブラッシュアップしたい ③令和7年度常時救護班登録者は参加を推奨			
災害看護実践コース	亜急性期における災害時病院業務支援演習 対象： チームリーダーを担うレベルⅢ取得済のスタッフ NEW	1.災害発生時の、日赤グループメリットについて再考し、本社「病院業務支援」の仕組みを理解する 2.疑似体験を通して、自部署のスタッフが「被災地に派遣される場合」「自部署が支援を受ける場合」のチームリーダーとしての行動をイメージする 3.受援の立場として自部署の準備を同僚と共に取り組む	研修ファシリテーター： 看護部	8月2日（土） 10：00-15：00 多目的ホール1・2

1. 研修申込方法

4月の指定期日までに、看護勤務システム>ラダーメニュー>研修申込 から各自が申し込む。

- 1) 『部署学習会としての研修』は、部署で学習会に計画することが決まってから、各自で申し込む。
- 2) 『期日未定』や『学研視聴のみ（看護管理者）』の研修も、各自で申し込む。
期日決定時に、参加できない人は各自で取り消す。なお、追加の申し込みは不可。

2. アクションシート

※教育プログラムでは、学びを部署で発揮できる看護師を育成するため、学習と実践を統合させる目的があります。そのため研修は「自己の課題・事前学習 → 研修（講義） → 部署での実践」のように段階的に進め、アクションシートは研記載る内容となり、講師⇄参加者間で提出と返却が繰り返されます。最後に講師から教育委員会にアクションシートが提出されてから、研修の出席が登録されますので、研修終了後まで無くさず管理する。

- 1) 指定がない場合、研修終了後にアクションシートを記載し、講師に提出。（従来通り）
- 2) 講師の指定がある場合は、それに従って提出。

3. 受講確認票

本研修は、本社プログラムであることから継続的に受講していることを確認する必要があるため、受講ごとに講師より押印をもらう